

京都嵯峨芸術大学

広報
39

Information

本学関係者による展覧会情報

■本学卒業・修了生／全学部（一部除く）

『第40回卒業・修了制作展』

会期:2月1日（水）～5日（日）

会場:京都市美術館（京都）

■本学在学学生／全学部（一部除く）

『第40回進級制作展』

会期:2月1日（水）～5日（日）

会場:京都嵯峨芸術大学（京都）

■小西 浩太／書道

『第43回日展』

会期:2月18日（土）～3月18日（日）

会場:大阪市立美術館（大阪）

■堀井 聡／油画

『第31回損保ジャパン美術財団選抜奨励展』

会期:3月3日（土）～4月1日（日）

会場:損保ジャパン東郷青児美術館（東京）

■長谷川 一郎／油画

『LA VOZ 2012』

会期:3月27日（火）～4月1日（日）

会場:京都市美術館別館（京都）

■日野田 崇／陶芸

『林茂樹・北川宏人・日野田崇展（仮）』

会期:3月28日（水）～4月9日（月）

会場:新宿高島屋（東京）

■イチハラ ヒロコ／油画

『それでも あなたを 愛したい。』

会期:3月31日（土）～5月20日（日）

会場:鎌倉画廊（神奈川）

■長谷川 一郎／油画

『長谷川一郎 個展』

会期:4月16日（月）～4月28日（土）

会場:2kw gallery（大阪）

附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」

■『大学院修了作品展』

日時:1月11日（水）～1月13日（金） 10時～18時 ※最終日は16時まで 無休

■『めくるめくるファンタジー 絵本とその原画展』

日時:1月15日（日）～1月22日（日） 10時～18時 ※最終日は17時まで 無休

※展覧会スケジュールは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

連続公開講座「京の美意識」スケジュール

2011年度は学園創立40周年を迎えたことから、講師陣は全て本学関係者で開催いたします（参加無料）。本学が40年にわたり培った「京の美意識」を工芸、文化、歴史等の各分野からお話しいただきます。また、ご希望の方には過去の講演録を販売しています（一冊千円）。

■第67回 1月21日（土）	三好 郁朗 〈本学学長〉	京都とパリと ―異文化のはざまで思うこと―
-------------------	-----------------	--------------------------

■第68回 3月24日（土）	大森 正夫 〈本学教授〉	京の空間美 ～花の見方に作法があるなら～
-------------------	-----------------	-------------------------

※いずれの回も14:20～有響館G401教室にて（参加無料）。
お申込み・お問合せは文化事業部まで。TEL.075-864-7898

あらし山びこスケジュール

本学附属図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」では、近隣の小学生や児童を対象に、季節に合わせた絵本の読み語りイベントを開催しています。地域のみなさんと京都の文化を学び、ふれあう時と一緒に過ごしながら、子どもたちの読書の第一歩を応援しています。

日時:第3土曜日（11月を除く）13:30～ 入場料:無料 参加自由
場所:京都嵯峨芸術大学 嵯原キャンパス「有響館」1階 附属図書館内

回	日程	プログラム	テーマ
8	1月21日（土）	30分	かみさま
9	2月18日（土）	30分	おに
10	3月17日（土）	30分	たびだち

※大学授業や行事等により開催日を変更、またテーマも変更する場合があります。

〔編集後記〕今年も残すところあとわずかですね。去る11月、ついに40周年記念事業の集大成である記念誌「京都嵯峨芸術大学の歩み」が完成しました。この記念すべき年に広報室でも本誌を通じ記念事業を数々紹介してきましたが、いかがだったでしょうか。これまでの反省を踏まえ、来年からもより良い誌面作りを目指していこうと思いますのでみなさんお付き合いよろしくお願いします。（広報室）



学校法人 大覚寺学園

京都嵯峨芸術大学

大学院・芸術学部・短期大学部

京都嵯峨芸術大学広報 第39号 2011年12月22日発行 編集:京都嵯峨芸術大学 総務部 広報室 発行:学校法人 大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学
〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地 TEL.075-864-7859 FAX.075-881-7133 info@kyoto-saga.ac.jp http://www.kyoto-saga.ac.jp/



大嵐芸祭開催



嵯峨芸ファミリー精神、健在

今年の嵐芸祭で、例年の嵐芸祭と違うところは、教職員と学生と同窓会役員が共に学園創立40周年記念「大嵐芸祭」を盛り上げようとの目標をかかげたことでしょうか。スタッフにおいては嵐芸祭実行委員は、移動したり等、精神的に幾度となく掲出したポスターや説明会の実施にも関わらず、2年生2名と1年生11名(男性1人、女性13人)、計14名しか集まりませんでした。

ここ数年の嵐芸祭実行委員は多いときで約70名、少ないときでも30名は集まっていた。果たして従来規模の嵐芸祭ができるのか心配しましたが、2年生2名の名采配と1年生の「がんばり」と「ふんばり」で従来に負けない立派な嵐芸祭ができたのではないかと思います。嵐芸祭期間中に走り回る嵐芸祭実行委員の姿を見かけられた方は多いと思います。嵐芸祭の1カ月前より毎日朝早く、午後11時30分迄、北グラウンドのクラブボックス等で準備をすすめ、また準備期間から後片付けまでの間、学生

ホールに毛布一枚で泊り込み、睡眠時間2〜3時間しかとっていない状況の中、パネル70枚を有響館から運んだり、100台近い自転車本部キャンパスの駐輪場から東グラウンドへ移動したり等、精神的にも肉体的にも過酷な日々だったと思います。しかし、実行委員のメンバーは明るく元気に、いつも仲間同士で会話を楽しんでいる姿が印象的でした。後片付けの日、今日1日で終わるかなと心配していたところ、嵐芸祭に参加していた学生が、自らの片付けが終わった後、100名近くが後片付けに積極的に参加してくれ、午後5時には完全に後片付けが終了しました。多くの学生もきつと少数で頑張っている嵐芸祭実行委員の姿をみて、手伝ってくれたのだと思います。開学以来の嵯峨芸のファミリー精神は今も健在だと感じました。(学生支援課長 物部雄次)



嵐芸祭実行委員一同より、ありがとうございます

学園創立40周年を記念した嵐芸祭が11月5日(土)として嵯峨芸生や教職員の6日(日)に開催されました。主眼イベントとして、音楽の「近藤夏子ライブ」、またHAZZE、まらしい、Dress.kinなどを招聘。その他にもマジックショーやライブイベント、そしてふれあい動物園などのイベントがあり、さらに学生による女装イベント「おとこの娘コンテスト」やコスプレコンテスト「サガコス」も学祭ならではの模擬店や作品展示などなど、たくさんのコンテンツで嵐芸祭が盛り上がり、特に中庭ステージでは観客があふれ、校舎の窓からもたくさんの方が顔を出されるほどの大盛況ぶりでした。



「テーマヒーロー」誰かのために愛を注いで頑張る人は皆ヒーローである」の嵐芸祭で、たくさんの方の新たなヒーローストーリーが生まれたのではないのでしょうか。そして何より、あいにくの雨にも拘らず嵐芸祭にお越しくださった卒業生の皆様、近

地域交流会

11月5日(土)、大嵐芸祭に来賓代表として藤田右京区長、山本自治連合会長よりご挨拶のお言葉をいただき、鏡開き後はそれぞれご自由におしゃべりや飲み会など、交流を深めました。

地域交流会には日頃よりご支援を賜っている藤田右京区長をはじめ、自治連合会長(嵯峨学区山本様、嵐山学区芳尾様、広沢学区山下様、水尾学区松尾様、右陰学区大西様)各種団体・協会役員、各町内役員の方々にご出席していただきました。交流会冒頭



ホームカミングデー

11月の5日と6日の二日間、学園創立40周年記念大嵐芸祭が開催されました。嵐芸祭が開催されたとき、お天気がいい、小雨も降る、例年にくの天気でしたが、例年になく盛り上がりを見ることができたと思います。

6日には篠原キャンパス有響館にて恒例の「嵯峨芸・嵯峨美ホームカミングデー」も、これまた盛大のうちに挙行することができました。多数の卒業生の皆さま、退職された先生方もお見えになり、総勢200名を超える盛大な宴となりました。第一部の「各年代思い出コーナー」では、懐かしい写真を上映しながら、本学事務局の新谷総務課長(3期生)の軽妙なトークで盛り上がり、ああ、そうそう、こんな校舎だった、あれ、私かも? などと会場から声が上がると、卒業生の一人ひとりの人生の大切な時期がここにあって、という「歴史の重み」を改めて感じた次第です。第二部の懇親パーティーでは、あちこちで旧交をあたためる姿が見られました。特に、世代を越える交流が見ら

れたのはホームカミングデーならではの光景であつたと思います。私事で恐縮ですが、締めくくられる際、退職された先生方ならびにお世話になりました同窓会役員の皆さまへのお礼の言葉を失念してしまいました。あまのの楽しみに、ついつい羽目をはずし、酔っ払ってしまいました。大変失礼をいたしましたこと、この場を借りてお詫言申し上げますとともに、改めて、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。(学生部長 坂田岳彦)



大嵐芸祭のイベント、アートフェスティバルでは、自作のアート作品をフリーマーケット形式で展示販売する「アートフリマ」とアート作品を人札形式で展示販売する「アートオークション」の2イベントが開催されました。今回はアートオークションについて企画代表者の箱崎副学長にお話を伺いました。

アートフェスティバル



「新しいイベントとして開催されたアートオークション、それもなぜ開催されることになったのですか」

40周年記念というのももちろんあるのですが、今年度、嵐芸祭を開催するにあたり東日本大震災の出来事は無視できませんでした。芸大での教育の特質を考えた時に、オークション形式で展示販売し、売り上げを義援金として寄付できる「アートオークション」が一番良い形では、というのが開催に至った大きなきっかけですね。あまり知られていないけれど東日本大震災では多くの重要文化財が被害を受けています。それを踏まえ、売り上げは文化財レスキュー事業(※文化庁による、被災した絵画・美術工芸品等を緊急保護・保存する事業)に寄付する予定です。

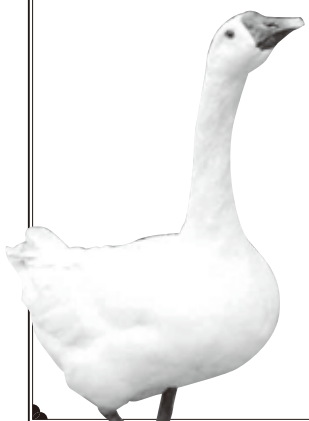
「今後継続して開催する予定はあるのですか」

周りには「またやりますよ」といつてくれる人もいます。声が多く集まればまたやりたいと思いますね。アート作品を自分で買って手元に置くというのは、実はとても大事なことです。手元に置くことで愛着が出てくるし、他の作品を持つ事は学生にも勉強になると思いますね。まあ、お金の問題もあるので難しいですが…(笑)

アートフェスティバル 出品売り上げ詳細

アートオークション	
出品数:	106点
入札総数:	149件
落札数:	87件
売上:	387,500円
アートフリマ	
売上:	52,290円
総額:	439,790円

12月20日付で文化財レスキュー事業(文化財保護・芸術研究助成財団)へ寄付致しました。



NEWS

理事会報告

泉地靖雄
名誉教授
逝去

長年にわたり、本学に
対してご尽力いただきま
した泉地靖雄名誉教授が
平成23年7月26日(火)に
逝去されました。謹んで
ご冥福をお祈り申し上げ
ます。(総務課)

新理事長
就任

黒髪寛延理事長の任期
満了に伴い、平成23年11月
18日(金)に理事会を開催
し、大覚寺宗務総長の服
部精村氏が理事長に就任
されました。(総務課)

事務局内
人事

退職

森田美穂

総務部総務課員

〈2011年9月30日付〉

新任

村上美智子

総務部総務課員 専任職員

(前職 嘱託職員)

高木あすか

(前職 非常勤事務職員)

〈2011年10月1日付〉

大学報告

海外・国内
美術研修
報告

夏期休暇期間を利用し
て、8月下旬の9日間、ス
ペインでの美術研修が企
画実施されました。
本学の北村正己教授と
佐藤文郎准教授が引率
を担当し、21名の学生が
参加しました。

ブラド美術館での作品
鑑賞や、ガウディの数々
の建築訪問などを通して
スペインの絵画・芸術表
現の変遷の理解を深めま
した。
また、国内美術研修で
は8月中旬の6日間南

大東島における文化遺産
保全のための研修が企
画・実施され、本学の真
板昭夫教授が引率を担当
し、8名の学生が参加しま
した。南大東島の文化遺産
を今後とも継承していくた
めの解決方法や実施計画

を模索し、南大東島の歴
史文化や自然特性を紹介
する作品を現地で制作し
ました。(教務課)

公開討論会
「デザインを
教える」
開催

学園創立40周年記念事
業のひとつである公開討
論会「デザインを教える」
が9月17日(土)に森原
キャンパス有響館にて開
催されました。当日は台
風の影響で大雨に見舞わ
れたにもかかわらず、学

内外から多くの方が参加
されました。
本学でデザイン教育を
担当する森本武教授が司
会を務め、討論者の坂田
岳彦准教授、辻勇佑准教
授、竹内オサム准教授に
それぞれの考える「デザ

イン」について語ってい
ただきました。討論者が
各専門分野であるグラ
フィックデザイン、ユニ
バーサルデザイン、広告
デザイン、と現代の多様
化するデザインの世界を
掘り下げ、それを踏まえ

た上で大学でデザインを
学ぶ意味とはどこにある
のかを熱心に議論しま
した。後半では来場者にも
意見を求め、共に協議し
ながらデザインの力の可
能性について考えていき
ました。(広報室)

2011年度
9月卒業
報告

2011年9月14日(水)
および9月21日(水)の教授
会において、芸術学部1
名、短期大学部8名の卒業
を認定しました。9月28日
(水)に卒業式を挙行し、学
長から学位記が授与され
ました。(教務課)

その後は金子一夫(茨城
大学教育学部教授、森
雅彦(宮城学院女子大学
学芸学部教授)、奥忍(大
阪芸術大学非常勤講
師)、三好郁朗(京都嵯峨
芸術大学学長)と様々な
形で芸術と関わる先生

方に演説していただき
ました。開学40周年を迎
えた今、改めて本学が
進むべき芸術教育の方
向性、大学の根幹に関し
てまで話はおよび、40周
年記念事業を締めくく
る有意義なシンポジウム

になったのではないでし
うか。(広報室)

シンポジウム
「大学における
芸術教育」
開催

学園創立40周年記念事
業の一環である、シンポジ
ウム「大学における芸術教
育」が10月15日(土)に森原
キャンパス有響館にて開
催されました。
基調講演には驚田清一
(大谷大学教授、前大阪

大学総長)をお招きし、
芸術大学とは社会の中で
どのような立場に位置し
ているのか、昨今の芸大
へ通う学生達はどうな事
を考えているのかなどを
ご自身の経験を踏まえて
語っていただきました。

終盤では「私は右を彫る
事は誰にも負けない」と信
じ欧州に渡りました。み

なさんも誰にも負けない
と思えるものをひとつ
持つて欲しい」と来場者
に熱いメッセージを送り
ました。(広報室)

は、前半が学園創設時から
の歴史をその時々の写真も
あわせて記述した歴史と、
現在までの大学・学園の基
礎データで構成する「資料
編」とし、後半を先生方や卒
業生に大学の思い出を寄稿
していただく「思い出編」と
しました。

外尾悦郎
客員教授
講演会
開催

サグラダ・ファミリア
聖堂(スペインバルセロナ)
の主任彫刻家を務めるな
ど、世界的に活躍してい
る外尾悦郎客員教授によ
る講演会「ガウディに学
ぶ「3000年」をいかに
に生きるか」が11月2日

(水)に本部キャンパス
AVホールにて開催され
ました。当日は本学学生
のほか一般来場者も多数
訪れ、満員御礼の会場と
なりました。
今回の講演では、冒頭
から「生きる」とは何か?

など多数の資料の収集整
理を行うとともに、創設時
の先生方への聞き取り調
査、同窓会等卒業生との連
絡、記念誌の企画内容の検
討を行いました。具体的
な誌面作成は約1年の作業
となりました。

今後の本学の教育のあり
方に対していへん参考に
なつたものと思われま
す。関係各位に多大なるご
協力をいただき感謝申し
上げる次第です。(40周年
記念事業室長 増田洋)

100頁にわたる記念誌
は、前半が学園創設時から
の歴史をその時々の写真も
あわせて記述した歴史と、
現在までの大学・学園の基
礎データで構成する「資料
編」とし、後半を先生方や卒
業生に大学の思い出を寄稿
していただく「思い出編」と
しました。

40周年
記念誌
完成

この11月1日(火)に学園
創立40周年記念「京都嵯峨
芸術大学の歩み」が完成し
ました。
本学では、創立以来の足
跡をたどる通史や、大学・学
園の基礎データをまとめた
資料がありませんでした。

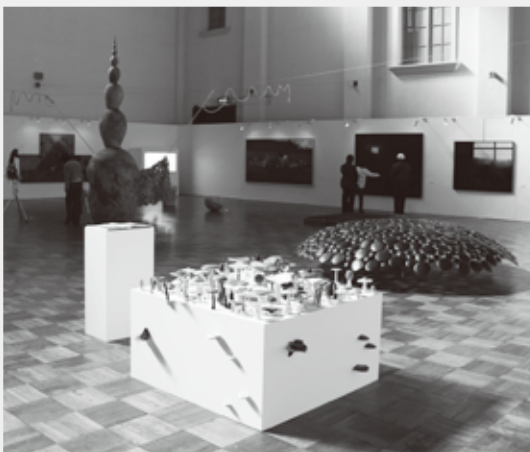
そこで学長の発案のもと、
平成16年11月から40周年記
念事業の一環として編纂作
業を行うこととなりました。
まずは、大学の各種印刷
物を中心に、学内諸行事
資料、各種写真、教授会等
の議事録、新聞掲載記事

シンポジウムでは、「芸
術・教育・大学」という
テーマに焦点を絞り、芸
術大学の教育のあり方や
社会で果たすべき役割に
ついて議論し考えること
ができました。総来場者
数は約800名にのぼり、

完成した記念誌が、卒業
生や学園関係者のみならず、
学外の多くの方々にも本学
の歴史について知っていた
だけの一助となれば幸いで
す。(記念誌編纂室)

100頁にわたる記念誌
は、前半が学園創設時から
の歴史をその時々の写真も
あわせて記述した歴史と、
現在までの大学・学園の基
礎データで構成する「資料
編」とし、後半を先生方や卒
業生に大学の思い出を寄稿
していただく「思い出編」と
しました。

告知

第40回
卒業・
修了制作展
「進級制作展」
告知

2010年度制作展の様子

本学の年に1度の大イベ
ント「卒業・修了制作展」が
2月1日(水)〜5日(日)に
京都市美術館にて開催さ
れます。この展覧会では、
主に今年度で卒業となる芸
術学部4年生・大学院生・短
期大学部2年生・専攻科生
の作品を発表します。本学
で培った力の集大成を發揮
するこの展覧会に皆様ぜひ
足をお運びください。
また、同じ時期に大学内
では「進級制作展」が開催
されます。この展覧会では
芸術学部1・2・3年生お
よび短期大学部1年生の

作品を展示します。今年の
進級制作展は、すべての展
示・イベントを自主企画で
募集し、分野・学年を越え
より自由に展示を行う予
定です。進級制作展の若く
自由な感性で創られる作
品もぜひお見逃しなく。
(総務課)

展覧会名:「第40回卒業・修了制作展」

会 期:2012年2月1日(水)〜5日(日)
時 間:9:00〜17:00(入場は16:30まで)
会 場:京都市美術館
交 通:地下鉄東西線「東山」駅から徒歩10分
市バス「京都美術館前」下車すぐ

展覧会名:「第40回進級制作展」

会 期:2012年2月1日(水)〜5日(日)
時 間:9:00〜17:00
会 場:京都嵯峨芸術大学学内
交 通:阪急電車「松尾」駅から徒歩15分(スクールバス有)
京福電気「車折神社」駅から徒歩5分
京都バス・市バス「車折神社前」下車徒歩3分

大学行事予定

Jan.2012 - Apr.2012



～1月10日(火)……………	■ 冬季休業
1月11日(水)……………	■ 授業再開
1月21日(土)……………	■ 京の美意識 「京都とパリとー異文化のはざま 思うことー」
1月23日(月)……………	■ 後期授業終了
1月27日(金)……………	■ 学園創立記念日
1月30日(月)・31日(火)…	■ 第40回制作展 作品搬入 (京都市美術館)
2月 1日(水)～5日(日)…	■ 第40回制作展
2月 7日(火)……………	■ 一般入試(前期・短期大学部)
2月 8日(水)……………	■ 一般入試(前期・芸術学部)
2月13日(月)～17日(金)…	■ 後期集中授業
2月28日(火)……………	■ 一般入試(後期・短期大学部) ■ 専攻科入試(後期)
2月29日(水)……………	■ 3年次編入学試験(後期・芸術学部) ■ 大学院入試(後期・短期大学部)
3月16日(金)……………	■ 一般入試(後期) ■ 自己推薦入試(後期)
3月19日(月)……………	■ 卒業・修了式(於:大学講堂) ■ 教育後援会主催祝賀パーティー
3月23日(金)……………	■ 在学生オリエンテーション
3月23日(金)～27日(火)…	■ 履修登録
3月24日(土)……………	■ 京の美意識 「京の空間美～花の見方に 作法があるなら～」
4月 2日(月)……………	■ 入学式
4月 2日(月)～7日(土)…	■ 新入生オリエンテーション、履修登録
4月 9日(月)……………	■ 授業開始

附属機関

博物館・
ギャラリー・
企画報告

10周年講演会の様子

附属博物館は、2011年11月23日(水・祝)に開館10周年を迎えました。また、京都府より博物館相当施設としての認可を受けてから8年目となり、学芸員資格取得のためにも活用されています。展覧会においては、この10年間で42回を開催し、多くの方々にご来館いただきました。今後も本学の収蔵品である郷土玩具、貿易扇、本学で教鞭を執られた先生方の作品などを公開するとともに、保存し、伝えてまいります。

また開館10周年記念として、10月9日(日)より12月17日(土)まで「京都嵯峨芸術大学附属博物館開館10周年記念展 おもちゃ絵の軌跡」郷土玩具とおもちゃ絵」を開催しました。10月29日(土)には記念講演会として「川崎巨泉」おもちゃ絵と語りの世界」を開催し、川崎巨泉の研究をされている森田俊雄氏にご講演いただきました。浮世絵師から図案家、そしておもちゃ絵画家となった巨泉の生涯の中で、模索しながら自らの

道を見つけ、おもちゃ絵の世界を築き上げた過程が興味深うかがえる講演となりました。おもちゃ絵を描くだけにとどまらず、デザイナー、ライター、エディターでもあった巨泉の作品は、本学学生にも刺激を与えたことと思います。(博物館ギャラリー課)

右京区役所
と協定結ぶ

11月4日(金)に京都市役所にて本学(短期大学部を含む)が京都右京区役所と地域活動における連携強化を目指す包括協定を結びました。本学のほかには京都外国語大学・短期大学部、京都光華女子大学短期

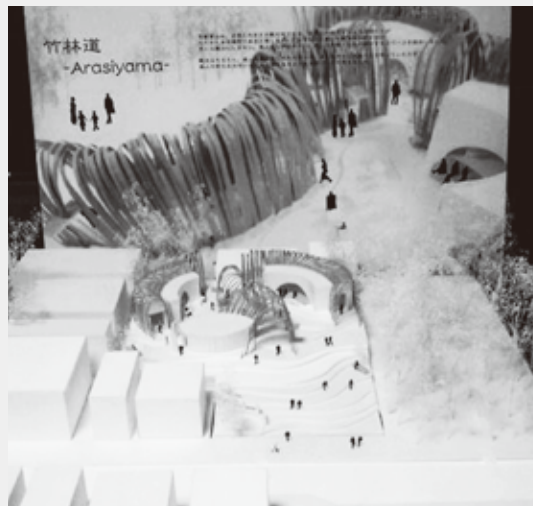
域のまちづくりや文化芸術の振興、教育活動の活性化を目指します。(総務課)

地域連携

国民文化祭・
京都2011
にてワーク
ショップ
開催

第26回国民文化祭・京都2011が10月29日(土)から11月6日(日)まで京都府内各地で開催されました。本学は10月29日(土)、国立京都国際会館で行われた開会式・オープニングフェスティバルでの伝統

制作し楽しまれていました。(文化事業課)

「建築新人戦
2011」
に参加した
観光デザイン
学科3回生の
重田さんの
活躍を紹介!

観光デザイン学科3回生(藤木ゼミ)の重田茜さんが「建築新人戦2011」に参加し、最終審査まで残ることができました。「建築新人戦」は全国の3回生以下の建築系の学生を対象としたコンテストで、授業の課題

作品を対象に審査されます。今年は「みち、かけだす」をテーマに全国の大学から1000を超える応募があった中、重田さんは選抜100選に選ばれました。コンテストに参加した重田さんに、その内容をうかがいました。

「嵐電の嵐山駅前に竹林を題材にした観光案内所を作る」というテーマの作品を出品しました。竹林のアーケードで建物を包んで、竹と建物を一体化した空間にしたんです。地域や場所性を活かし、その場でしか

できない空間を考えました。その点が評価されたのかな?でも10月に選抜作品が紹介される展示会があったんですが、他の人の作品を見て自分はまだまだだなあと思いましたね。考え方だけじゃなくてプレゼンボードや図面もしっかり描けるようにならないと…。将来は店舗などの空間デザイン系の仕事をしたいので、もっともっと頑張りたいです」

建築設計を専門とした全国の学生と並んで実力を試す事ができた重田さん。貴重な経験であったことはもちろんですが、自身の目標もはつきりしたようですね。これからの活躍が楽しみです。ますます頑張ってくださいね!(広報室)

「FD Cafe」
講義おも
しろい?

10月20日(木)に本部キャンパス第6演習室で「FD Cafe」が開催されました。FD委員会と学友会の共催企画であるこのイベントは、教職員と学生がリラックスした雰囲気の中、大学教育について語り合うものです。今回のテーマは「講義おもしろい?」。教職員と学生合わせて約40名が集まり、4つのグループに別れて、講義を行う立場、講義を受ける立場、その他さまざまな立場から「大学の

12月にそれぞれ1回ずつ開催しました。(FD委員長 神谷三郎)

マンガの力
を被災地へ

本学短期大学部マンガ分野によるプロジェクト、別冊マンガ「別冊SAGAMAN 嵯峨嵐漫」が今夏に発行されました。未曾有の災害、東日本大震災を受け「自分たちに何ができる事はないか」という考えから発足されたこのプロジェクトは、マンガ分野の在学生・卒業生・教員に募って別冊マンガを制作し、被災地の方々に直接マンガ作品を届けるというものです。東北3県および被災された方々には

無料でマンガ作品を提供し、その他の方々には500円で販売し、売り上げは全て義援金に当てられます。この活動は10月5日付の京都新聞でも大きく取り上げられ注目を集めました。(広報室)

教員・在学生の活躍

TOPICS